

城西中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和3年11月30日(火)18:00~19:00

場所:かごしま環境未来館

令和4年1月
鹿児島市 市民協働課

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	永吉町内会	<p>① 原良校区は区画整理で非常に綺麗になったが、8・6水害の被害があまりなかった永吉3丁目など山手の区域は区画整理がされていない。以前も市に要望したが、「厳しい財政状況や予算の中でなかなか実施できない」との回答だった。</p> <p>それから4年ほど経過しているが、現状の見通しはどうなっているか。</p>	<p>① 区画整理は200億から600億円という多額の費用を要し、国から補助を受けて実施するものであり、現状では区画整理の実施は難しい。</p> <p>新たな地区の選定については、平成23年度に吉野第二地区周辺、田上小学校周辺、谷山第三地区隣接の3地区を面的整備地区として抽出しており、まずはこの3地区において検討を進めていきたい。</p>	建設局	【建設局】 市長回答のとおり。
2	NPO法人かごしま新発見伝塾	<p>② 城西地域は、江戸時代以前は自然に恵まれた地であり、江戸時代には殿様や著名人の別荘なども建てられた。街中には史跡が残っているが、これらは子どもたちにほとんど知られていない。</p> <p>そこで、子どもたちに対して、まち歩きやワークショップを実施し、鹿児島に愛着をもつ子どもを育てる取り組みを実施してはいかかか。</p> <p>また、私たちがぜひ活用していただけないか。</p>	<p>② 将来子どもたちが鹿児島で活躍したいと思うためには、鹿児島に誇りを持ち愛郷心を持つことが重要であり、地域の歴史を学ぶことは必要な取り組みだと考えている。</p> <p>小・中学生が総合的な学習の時間や郷土学習で利用してもらえるように、市内の史跡など約600件を掲載している「史跡めぐりガイドブック」を作成している。</p> <p>校区内の原良小学校では、「鹿児島おはら節」発祥の地であることから、地域の方から「おはら節」など郷土の踊りを教わる活動をしていると聞いている。</p> <p>また、鹿児島観光コンベンション協会が実施する「鹿児島ぶらりまち歩き」では、鹿児島の歴史や文化を熟知したボランティアガイドに活躍していただいている例もある。</p> <p>今後も皆様と力を併せながら、子どもたちや鹿児島を訪れる方々に鹿児島の魅力が伝わるように取り組んでまいりたい。</p>	観光交流局 教育委員会	【観光交流局、教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	新照院町町内会	<p>③ 新照院町町内会の住民は、避難指示が出た際、一番近い避難所である城西公民館や草牟田小学校へ行くためには、城山の崖下を通らなければならない。また、少し離れた城西中学校に避難する場合も、甲突川を渡らなければならない、危険である。</p> <p>令和2年6月に市に避難所の新設要望を提出し、町内の寺やビルなど、いくつかの既存の建物を新たに避難所に設定できないか検証していただいたが、管理者の関係で難しいとのことだった。自治公民館についても、鹿児島大学の先生により、急傾斜地があることから、避難所には指定できないとのことだった。この自治公民館を避難所に指定するために、のり面を整備し土砂崩れがないようにしていただくか、鉄筋の公民館にするために補助をしてほしい。</p> <p>早めに避難すればいいというが、災害時に避難が間に合わないこともあり得るので、市で避難所を新設してほしい。</p>	<p>③ 昨年の6月に、貴団体より避難所新設に関する要望書をいただき、その際に本市防災専門アドバイザーである専門家と現地調査を実施したと報告を受けている。甲突川の浸水のおそれがある地域であることから、早めの避難をお願いしたところだが、将来的にはハザードに係らない避難所が必要だとも考える。</p> <p>一方で、避難所は災害が起きた時に使い、普段は使わないという性質があるので、避難所単体ではなく、普段何かに使っているものを活用することが望ましい。</p> <p>将来的にこの地域で公的な施設を何か配置または再配置することがあれば、避難所の機能を強化できるよう配慮したいと考えるので、将来的な課題とさせていただきたい。</p>	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	原良西町内会	<p>④ 原良西町内会は、日枝ヶ迫から山田の方への道路が、武岡団地などから市街地へ向かう車の通り道となっており、交通量が多くなっている。この道路について、山田バス停の辺りまで拡張をお願いしたい。</p> <p>また、数年前に町内会の近くに住宅地が開発され、車の交通量が増え、山田の交差点までの道路がでこぼこしている。ここでは中学生が怪我をする事故も起きたので、市に補修をお願いしたところ、部分的な修繕はすると回答をいただいたが、部分的に修繕をしても、また数年後に修繕が必要になるといけないので、大きな修繕をしていただいた方が安全ではないかと考える。</p> <p>この周辺は、原良小学校に通う児童も通るため、道路の状態をよく見ていただき、拡張、修繕をお願いしたい。</p>	<p>④ 路面の補修については、通行する車両の台数や種類などや、団地ができたことにより、交通量も増えているだろうから、これらを踏まえて、路面を補修すべきか、路盤を整備すべきか、後日担当課より報告を聞きたいと考えている。</p> <p>拡張については、用地買収を伴うため、予算を組み、順次進めていく。なお、平成29年度から用地測量、令和元年度から建物等調査を行っている。予算の関係からお時間をいただきたいが、地権者の方々のご理解をいただきながら、着実に取り組んでまいりたい。</p>	建設局	<p>【建設局】</p> <p>武岡原良線については拡張を予定しているため、拡張工事までの間は、路面の補修で対応する。これまでポットホールなどの舗装補修等を行っており、今後も拡張工事までの間、舗装の傷みが著しく通行に支障をきたす場合は迅速に対応してまいりたい。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	オーガニック給食を進める会	<p>⑤ 国が「みどりの食糧システム戦略」を策定し、有機農業の面積を1%から25%に増やし、化学農薬使用量を50%、化学肥料の使用量を30%低減する目標を定めた。また、生物多様性の観点からも、有機農業を重視している。</p> <p>しかし、鹿児島県は有機農業の生産者数、生産面積ともに全国2位であるが、身近なお店ではほとんど取り扱っておらず、取り扱っていても量が少ない。</p> <p>県内の学校給食に関わる方たちにアンケートを実施した結果、「鹿児島県が有機農業先進県であることを知らない」と回答した割合が79%、「学校給食で有機野菜を使っていない」と回答した割合が71%、そして「有機野菜を使ってみたい」と回答した割合が52%、「使ってみたいかわからない」と回答した割合が42%という結果になり、まだ有機野菜が普及していないという実態が明らかになった。</p> <p>そこで行政が後押しをして、市内の学校給食にもぜひ積極的に有機生産物を取り入れていただきたい。</p>	<p>⑤ 学校給食については、子どもたちが食を通じてコミュニケーションや食の意義・価値を学ぶ食育という面も重要であり、有機農産物や地産地消の果たす役割が大きいと考える。</p> <p>学校給食でのオーガニック食品の活用については、市立学校の一部において人参や大根等を使用しており、今後も価格や供給量等の状況を把握しながら、可能な限り活用していきたいと考えている。</p> <p>また、フードマイレージという観点も重要であり、有機農業を含め、県産品の活用が重要だと考えているので、皆さんのご意見をいただきながら進めていきたい。</p>	産業局 教育委員会	【産業局・教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	鹿児島高校「三弧会」	<p>⑥ (1) 工業高校・鹿児島高校等の生徒の自転車と城西中学校の生徒が多く、接触しそうで危ない。曲がり角や、道路に駐車している自動車と、急に出てくる歩行者や自転車が接触しかねないので、可搬型ハンブ等自動車が速度を落としてくれるような工夫をしてほしい。</p> <p>(2) 道路が広く、広がって歩く人が多い。自転車を除く、7-9時の歩行者専用道路だが、車が5分余りで2台ほど通る。歩行者も自動車側も双方気を付けてもらいたい。</p> <p>(3) 自転車を除く7-9時の歩行者専用道路だが、自動車通っている。朝は城西中学校のPTAの方が3名ほど立っていたので、自動車や自転車が歩行者と衝突することは少ないと思うが、その方たちがいなかったら危ない。</p> <p>(4) 見通しが悪く、自動車や歩行者が見えず衝突しそうになって危ない。カーブミラーを設置して左右確認がしっかりと出来るようにしてほしい。</p> <p>(5) 自転車を除く7-9時の歩行者専用道路であるが、自動車通っている。また、歩行者は信号がある所まで迂回しないといけませんが、面倒に思う方が横断歩道のないところを渡ってしまって危ないため、この交差点に横断歩道と信号を設置してほしい。</p>	<p>⑥ (1) について、ハンブはゾーン30エリア内に設置するもので、ゾーン30エリアは、ゾーンを定めて自動車の走行速度を制限する取り組みである。</p> <p>(2) と (5) については、7時から9時までの間の歩行者専用道路で自動車が通行しているということで、所管する西警察署へお伝えする。また、(5)の横断歩道、信号機の設置要望についても、併せて西警察署へお伝えする。信号機の要望は県内各地で多くあるが、年に10~15機ほどしか予算がついていないようだ。学校や地域の方と一丸となって所管の警察署へ粘り強く要望を出していただきたい。</p> <p>(3) については、7時から9時までの歩行者専用道路ではなかった。当面は皆さんに注意していただきたい。学校や地域の方が規制が必要と考えるのであれば、西警察署に要望していただきたい。</p> <p>(4) について、「すみ切り」を行っておりカーブミラーの設置基準に合わないが、「止まれ」の路面標示を追加したいと思う。</p> <p>その他、車道の外側の線やスピード落とせ等の路面標示が消えている所が複数あるので、適宜引き直しを行うなど、市ですべきところは市で対応し、県警所管の要望については、しっかりと伝えていきたい。</p>	<p>危機管理局 建設局</p>	<p>【危機管理局】 (1)については、当該区域が駐車禁止区域であることから、区域内で駐車車両が見受けられることについては、西警察署にお伝えする。</p> <p>【建設局】 (1)について、ゾーン30エリアは、交通事故発生状況などを踏まえ設定しており、この設定については、県警などとも協議・調整を行っている。 ご要望のあった危険個所における安全対策については、路面標示の設置などを地元や県警とも調整し、検討してまいります。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	西田校区 まちづくり協議会	<p>⑦ 各校区でコミュニティ協議会が設立されて5年ほど経つが、活動の3～4年目は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように活動ができず、コミュニティ協議会の本来あるべき姿について悩んでいる。他の協議会に訊ねてみたが、何十年と続いた従来の公民館運営審議会の後継という形でイベント関係を実施しているのが実情と聞いている。予算をかけて協議会の構造をつくったので、本来あるべき姿はどのようなものか今一度ご指導いただきたい。</p> <p>また、他の団体が苦勞していることや、何がどうよくなったのか、変わったのかを知りたいと考えている。新型コロナウイルスの影響も承知しているが、次年度以降、協議会同士の意見交換の場などを設けてはどうか。また、中学校区など、細かい単位で区切って開催するのはどうか。</p>	<p>⑦ 今後のコミュニティ協議会の在り方や、他の協議会の取り組みについての情報は、地域振興課の職員や地域連携コーディネーターが協議会を訪問した際に情報提供するので、ご相談いただきたい。</p> <p>また、協議会同士の意見交換の機会は重要であると考えており、現在12月の開催に向けて準備を進めているので、ぜひ積極的な意見交換の場としてご活用いただきたい。また、ご提案いただいた地域ごとの開催も有用だと考えるので、今後検討していきたい。</p>	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	永吉町内会	<p>⑧ 永吉公民館は、町内会や地域の高齢者などを中心に利用されている。より幅広い層の方や分野の活用を図るために、公民館にフリーWi-Fiを含めたインターネット環境の整備を進めていただきたい。Wi-fiがあれば、公民館を災害時の避難所として使用するときの情報収集や、リモートでのイベントもできるようになり、公民館の付加価値が向上することで、若年層を含めた幅広い年代層の利用が期待できる。ヨガや体操教室などでは、遠方の講師による講座等の実施や、その他にも永吉周辺にレンタルオフィスがないので、インターネット環境を整備することにより、コワーキングスペースとして貸出することも期待できると考える。</p> <p>市内の全ての自治公民館への設置となると、多額の費用を要するので、希望する公民館などから予算措置対応を検討していただきたい。</p>	<p>⑧ Wi-fiの設置には年間数万円を要し、市内に数百とある町内会集会所すべてに経費を負担することは難しいが、一方で費用以上の効果があれば導入しても良いと考えるので、他都市の事例などを調査してまいりたい。</p>	市民局	<p>【市民局】 市長回答のとおり。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	NPO法人かごしま新発見伝塾	⑨ 永吉にはかつて石井手用水が引かれていて、その名残と思われる太鼓橋のようなものが残っており、重要な史跡ではないかと考えている。こちらについて、調査をして、史跡の説明をする看板を立てていただけないか。	⑨ 史跡の在り方によって希少性などに幅があるため、担当課にどの程度の希少性なのか等検証させた上でお返事したい。	教育委員会	【教育委員会】 現在、提言の太鼓橋についての希少性や文化財的価値について、専門家の意見を伺っている。価値が高いと判断された場合、市指定文化財の指定候補として詳細調査を実施し、新たに市指定文化財になれば、説明板の設置を行うことになる。
10	新照院町町内会	⑩ ごみステーションの飛散防止ネットについて、交換の頻度が多いが、申請する際には、毎回清掃事務所に問い合わせる書類を持ってきてもらい、書類に記入し、印を押し、市職員がネットを持って来る際に書類を渡す。市の他の手続きについてはホームページで書類を取得できるが、ごみステーションの関係はホームページで入手できず、職員が書類を持って来る。そこで、事前にごみステーションの関係書類について、インターネットでダウンロードや、FAX等で取得できるようにしていただきたい。	⑩ 今後はネットの掲載やメールなど、市民の皆様や職員にとってなるべく手間が省けるような方法の検討を模索したい。	環境局	【環境局】 飛散防止ネットの貸与については、ごみステーションの管理主体が町内会であることから、代表者である会長からの申し出を受けて、申請書を職員が持参しているところである。貸与の際には、既存のネットの状況確認等が必要であることから、今後も電話等により申し出ていただくことになるが、申請書の交付については、負担軽減につながる方法について検討していきたい。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	原良西町内会	<p>⑩ ここ数年、ヤンバルトサカヤスデが大量発生している。町内会でも市役所で配付される駆除剤を用いて薬剤散布作業を行っているが、高齢者が多い町内会での作業が大変負担となっている。そこで、市で業者に委託して定期的にヤスデの駆除を行っていただきたい。先日西町内会や常盤周辺での実施について薬剤散布の報告をいただいたが、1回ではなく、月に1回程度はしていただきたい。</p> <p>また、ヤンバルトサカヤスデの駆除剤について、高齢者が月に1回、3キロもする薬剤を市役所に受取に行くのは大変である。町内の高齢者には、運転もできない人もいるので、町内会役員が代わりに市役所に受け取りに行くが、負担となっている。</p> <p>2、3年前までは、市に欲しい数を連絡すると、市職員が公民館の入り口に持ってきてくれた。今は市役所に受取りに行かなければならず、受取時にも、市職員が申請書類を1枚ずつ、月に2回以上の申請がないか確認する。市の職員も大変そうである。</p> <p>もう少し予算を組んで、申請する私たちにとっても、市職員にとっても良い方法で配付ができないか。</p>	<p>⑩ ヤンバルトサカヤスデの駆除について、業者に委託して行う駆除は、大量発生の原因と考えられる場所としており、原良7丁目の山手には委託で散布は行っているが、個人の住宅敷地等には行っていない。地域全体で一斉駆除をする方法もあり、町内会で一斉駆除を行う際には、市職員も一緒になって作業を行うので、事前に環境衛生課へご相談いただきたい。</p> <p>また、駆除薬剤の配付方法については、実態について担当課から報告を受けて、検討結果を回答したい。</p>	環境局	<p>【環境局】</p> <p>令和2年度までは町内会単位で申し込みされた際に薬剤の運搬等を行っていたが、近年のヤンバルトサカヤスデ大量発生に伴い、町内会での取りまとめは役員が非常に苦勞するのでやめて欲しいとの意見や、一世帯月に一袋というルールから逸脱している世帯が散見されたことなどから、3年度からは、必要とする世帯が各自で取りに来ていただいております、代理も可としている。</p> <p>配付方法等については、町内会の負担にならないよう、ヤンバルトサカヤスデの発生状況を見ながら、今後も引き続き検討を行っていく。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	オーガニック給食を進める会	<p>⑫ 国が2050年までに、有機農業の面積を1%から25%に拡大するという方針を発表した。鹿児島市も2050年のゼロカーボンシティ達成に向けてこれに重なるところがあり、有機農業の推進は、環境にも健康にもやさしく、2050年の目指す姿に貢献できると考えている。</p> <p>国の目標を達成するには、有機農産物を作るための肥料を増やしていく取り組みが必要と考えている。そこで、現在鹿児島市で生ごみの削減問題があるかと思うが、この生ごみをうまく活用して堆肥化し、今後不足するであろう有機農産物の肥料に利用できる取り組みを進めていただきたい。</p> <p>また、千葉県いすみ市では、首長が先導して給食用の有機農産物を生産する農家が増えた事例がある。ぜひ鹿児島市でも、同様に取り組んでほしい。</p>	<p>⑫ 生ごみの問題については、市ではこれまでも生ごみコンポストの補助をしてきたが、作る人と使う人のマッチングの問題もあると聞いているので、担当課から報告を受けて検討したい。</p> <p>給食での有機農産物の活用は、ぜひ活用したいと思う一方で、どうしても原材料費を保護者が負担するという構造があり、価格や安定供給との兼ね合いがあるため、可能な限り活用していきたい。</p>	環境局 教育委員会	<p>【環境局】 家庭ごみ(もやせるごみ・もやせないごみ・粗大ごみ)量を1人1日あたり470gとする「家庭ごみマイナス100g」の取り組みについて、令和5年3月を目標期限として各種減量化、資源化の施策を進めており、生ごみの減量化は目標を達成するため重要な課題の一つである。 このため、生ごみから生成された堆肥については、かごしま環境未来館での引き取りと希望者への配付を行っていたが、十分に有機物が分解されないまま持ち込まれるケースが多くあり、活用されなかったことから、現在は行っていないところである。 現在本市では、生ごみの減量化策としては、家庭用の生ごみ処理機器を購入した方への助成制度を設けており、堆肥として活用策がない方へは、生ごみを乾燥することにより減量してもやせるごみへ出すことのできる電気式の機器を案内しているところである。</p> <p>【教育委員会】 市長回答のとおり。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	鹿児島高校「三弧会」	<p>⑬ 現在鹿児島高校では、SDGsに関連する取り組みとして、ペットボトルキャップの回収や清掃時の消灯といった節電、緑の羽や赤い羽根などの募金活動を通じた森林などの環境問題や社会福祉の問題に取り組んでいる。</p> <p>今後は、地域の方々と一緒にリサイクルボックスを作成・設置し、リサイクルに対する意識をより高めてもらう取り組みを行っていきたいと考えている。</p> <p>この他、SDGsに関して、市とタイアップして取り組みたいと考えているが、いかがか。</p>	<p>⑬ SDGsの取り組みを市と共に実施したいとこのことで大変ありがたく思う。関係部署の窓口を案内するのでご相談いただき、ぜひ一緒に取り組んでいきたい。</p>	企画財政局	【企画財政局】 市長回答のとおり。
14	西田校区まちづくり協議会	<p>⑭ 私たち町内会やコミュニティ協議会は、役員などの担い手不足について悩んでいる。</p> <p>元気があって技術力もある団塊の世代の方々が大勢いるはずだが、引きこもってしまい見かけない。市長の公約にも関わるところがあると思うので、市もそのような方々をまちづくりなどに参加してもらう取り組みをしてほしい。</p>	<p>⑭ 経験豊富な団塊の世代をはじめとする高齢者の方々に、それまでの経験を生かしてもらうことは重要である。そうした方々と、どこで接点をつくり、どのようにしてやる気を出してもらい、どこにつなげていくか重要な課題としてとらえていきたい。</p>	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。